

開催日時：2025.04.14（月）15：00～

<2024 年度後期 自己点検評価>

・5＝大変適切　・4＝適切　・3＝ほぼ適切　・2＝やや不適切　・1＝不適切

1.教育理念・目的等	自己評価 2024 前期	自己評価 2024 後期
1-1 理念・目的・育成人材像は定められているか	4	5
1-2 学校の特色は明確か	5	5
1-3 社会のニーズを踏まえた将来像を抱いているか	4	4

実績の確認

1-1. 理美容業界で長く働ける人材の育成という教育目標が実現できているかの検証

離職率 23 期生 0% / 22 期生 4.2% / 21 期生 27.6%

1-2. 国家資格と就職(業界就職希望者)

2024 年度国家資格(後期) 第23期生 合格率 理容 100% 美容 100% 業界就職 100%(W除く)

1-3. W ライセンスの促進

W ライセンス比率 22 期生 72% / 23 期生 62.5% / 24 期生 45.7%(予定)

★教職員からの声

特になし

■学校関係者の評価・意見 **[適切・不適切]** *どちらかに○を付けてください。

【全員】 なし

・ 5 = 大変適切 ・ 4 = 適切 ・ 3 = ほぼ適切 ・ 2 = やや不適切 ・ 1 = 不適切

2.学校運営	自己評価 2024 前期	自己評価 2024 後期
2-1 目的に沿った運営方針は定められているか	4	4
2-2 方針に沿った事業計画は定められているか	4	4
2-3 意思決定機能は明確か、機能しているか	4	4
2-4 人事制度等は整備されているか	4	4
2-5 情報公開は適切に行われているか	4	5
2-6 情報システム化など業務の効率化が図られているか	4	4

実績の確認

2-2. 2024 年度募集計画は前年度に比べ、計画通り順調に実施されている。

2-4. 外部の意見を参考にしながら新たに査定評価シートを作成し 2021 年度から評価を行い、2024 年度人事考査に反映させている。

2-5. 2019 年度以降ホームページで情報公開を行なっている。

2-6 情報システム化や業務の効率化は部分的に認められるが、全体としてまだ統一されていない。

★教職員からの声

特になし

■学校関係者の評価・意見

[適切] 不適切 *どちらかに○を付けてください。

【評価者】適切な量と質の情報が発信されていますか。過度な情報発信になっていませんか。

【学校】適切に行っています。

・ 5 = 大変適切 ・ 4 = 適切 ・ 3 = ほぼ適切 ・ 2 = やや不適切 ・ 1 = 不適切

3.教育活動	自己評価 2024 前期	自己評価 2024 後期
3-1 各科目の到達レベルは明確に定められているか	4	4
3-2 業界と連携しカリキュラムの改善を行っているか	4	4
3-3 体系的なインターンシップ制度はあるか	5	5
3-4 成績評価・進級卒業判定の基準は明確か	4	4
3-5 資格取得に関する指導体制は十分か	4	4
3-6 優れた教員を確保しているか	3	3
3-7 教職員の研修などが適切に行われているか	4	4

実績の確認

- 3-1.国家資格を確実に取得するための到達レベルは明確に示されている。
- 3-2.提携サロン制度により業界の声を反映したカリキュラム改善に取り組んでいる。
- 3-3.サロンでの実務実習時間は養成施設（専門学校）指定規則で定められているので、その範囲で就職先を視野に入れたインターン制度に取り組んでいる。
- 3-4.国家資格取得が最低限必要なため成績判定等は明確にある。高等教育の修学支援制度により GPAでの評価も実施している。
- 3-5.専門コースによる資格取得も含め指導体制は機能している。
- 3-6.非常勤講師を含めて優れた教員の確保努力をしている。
- 3-7.理美容師養成施設として要件を満たす教員の育成を行なっている。理容師美容師の教員資格を取得するための研修受講（日本理容美容教育センター主催）を計画的に実施している。
- その他、授業の質向上のための教職員向け研修会を実施している。（年間1～2回）

★教職員からの声

- 3-6 優れた人材になれるように頑張っていきます。
- 3-2 業界や学生の需要に合わせて、カリキュラム改善が細かく行われている
- 3-6 カリキュラム改善に合わせ、サロンの先生方に新たに講師依頼をしたりと、授業内容に即した人材を確保している

■学校関係者の評価・意見 [適切・不適切] *どちらかに○を付けてください。

【評価者】カリキュラムの需要としてはどのようなものがありますか。

【本校】これまでは3つのコースからの選択制でしたが、多様化に対応した1種から選択可能な授業に組みなおしました。

【評価者】アイラッシュも必須ですか。【学校】授業に組み込んでいます。

【評価者】教職員に関して、新しい人材の確保も大切だが今いる人材は素晴らしいので活用も大切ではないでしょうか。

【本校】慢心せず努めてまいります。

・5 = 大変適切 ・4 = 適切 ・3 = ほぼ適切 ・2 = やや不適切 ・1 = 不適切

4.学修成果	自己評価 2024 前期	自己評価 2024 後期
4-1 就職率の向上は図られているか	5	5
4-2 資格取得率の向上は図られているか	4	5
4-3 退学率の低減が図られているか	4	4
4-4 卒業生の状況を把握しているか	4	4

実績の確認

- 4-1. 学生一人ひとりに対して個性や希望を元にサロンを紹介することで、就職率 100%
を継続し、理美容師を長く続ける活動を行なっている。
- 4-2. 2024 年度(2月・3月)の国家試験は理美容ともに 100%合格。
- 4-3. 2024 年度の退学者は 0 名(1 年生) 0 名(2年生) 留年者 1 名(1 年生)
- 4-4. 実務実習で4回／年、サロン訪問を実施し、在校生だけではなく、卒業生の状況を把握している。

課題

- 4-3 ・1 年生:46名中 1 名が留年 / 2年生:40 名中 退学者 0 名
・退学・留年の原因は各々違いがあるため、その原因を明確にし、対策を講じていく。

★教職員からの声

- 4-3 カウンセラーの導入により、悩み等を相談しやすい環境が作れていると思う

■学校関係者の評価・意見 **[適切・不適切]** *どちらかに○を付けてください。

【評価者】メンタルケアカウンセリングでの悩みの傾向などありますか。
【本校】「人間関係」の悩みが一番多いです。分析を行ってもらい、各担任が指導に生かしています。

・ 5 = 大変適切 ・ 4 = 適切 ・ 3 = ほぼ適切 ・ 2 = やや不適切 ・ 1 = 不適切

5.学生支援	自己評価 2024 前期	自己評価 2024 後期
5-1 生活指導に対する体制は整備されているか	4	4
5-2 保護者と適切に連携しているか	4	4
5-3 卒業生の支援体制はあるか	5	4
5-4 高校等との連携による職業教育の取り組みはあるか	4	5

実績の確認

5-1.生活指導については担任を中心に全学的にサポートしている。

5-2.保護者への定期的な成績通知のほか、出席状況や就職指導など必要に応じて連絡している。

5-3.就職先を訪ね状況を把握するなど、卒業生に対する積極的な支援を行なっている。

5-3.在校生の実務実習でサロンを定期的に回りながら、卒業生の様子をうかがっている。

卒業生が卒業後、当校を訪ねてくれるケースが多く、他の同窓生について現在の状況を聞いている。

5-4.佐賀県専修学校各種学校連合会連と連携して、佐賀県内の高校へ職業理解のガイダンスを実施している。

★教職員からの声

5-4 職業理解のガイダンスだけでなく、高校からの依頼による身だしなみ講座等にも積極的に参加している

■学校関係者の評価・意見 ☒ 適切 ☐ 不適切 *どちらかに○を付けてください。

【評価者】身だしなみに関する指導はありますか。地域では褒める声もあれば不安の声もある。

【本校】学則もありますし外部での実習に支障がない程度の身だしなみ指導を行っています。挨拶をしっかり行うことで理解を得れるような指導しています。

【評価者】見かけではないことはきちんと地域も理解しています。地域の不安な声を少しでも減らせるよう引き続きの指導をお願いします。

・5 = 大変適切 ・4 = 適切 ・3 = ほぼ適切 ・2 = やや不適切 ・1 = 不適切

6.教育環境	自己評価 2024 前期	自己評価 2024 後期
6-1 施設設備は十分に整備されているか	3	4
6-2 防災に対する体制は整備されているか	4	4
6-3 感染症に対する体制は整備されているか	4	4

実績の確認

6-1.学習に必要な設備は整備されているが、今後、少人数制を維持しながら定員の充足を図るために計画的な整備計画が必要。

6-1.机、いすの導入、防犯カメラ設置、シャンプー用給湯器取り替え(2024.11 月)
電気設備(コンセント)の増設 1・3F

6-2.2024 年 6・12 月に避難・消防訓練を実施。毎年 2 回実施予定。

6-3. 感染症に対する意識や体制は整備されている。

★教職員からの声

6-1 学生が増加しているのもう少し広い教室が欲しい

6-1 学習に必要な設備はあるが、入学者の増加に伴い、教室のキャパシティやそもそもの部屋数が不足している

■学校関係者の評価・意見 **[適切・不適切]** *どちらかに○を付けてください。

【全員】 なし

・ 5 = 大変適切 ・ 4 = 適切 ・ 3 = ほぼ適切 ・ 2 = やや不適切 ・ 1 = 不適切

7.学生の受け入れ募集	自己評価 2024 前期	自己評価 2024 後期
7-1 学生募集は適切に行われているか	5	5
7-2 学納金は適正・妥当に設定されているか	4	5
7-3 入試は公平・公正に行われているか	5	5
7-4 高校等への情報提供は適切に行われているか	5	5

実績の確認

7-1.学生募集は進路検討者の立場に立ち適正かつ適切に行なっている。

7-1.校舎のキャパ的に募集定員は1学年、理容 20 人、美容 30 人程度が限度であるため、出願55人を目標に学生募集を実施している。教育目標の達成や教育レベル向上のためにも学生募集が重要なため、外部の意見を取り入れ随時改善を続けていく。

7-2.学納金は道具材料費も含め適切に設定している。但し、2026 年入学生からは、物価高騰の為、学費を 2 年間で 228 万⇒236 万に設定している。

7-3.アドミッションポリシーを定め公平・公正な入試を行なっている。

令和 6 年度入学者 入試制度 1 総合型選抜入学 2 学校推薦型入学（指定校、高校） 3 一般選抜入学

7-4.理容師・美容師の業務実態など、高校への情報提供を適切に行なっている。

★教職員からの声

特になし

■学校関係者の評価・意見 [適切・不適切] *どちらかに○を付けてください。

【評価者】学生が増えてきていますが今後はどのような展望がありますか。

【本校】具体的にはまだ未定ですが色々な選択肢を検討しています。

【評価者】サロンとしても学生が増えることは望ましいしありがたいです。

【評価者】学生が増えても教育の質は落とさないようにしてほしいです。

・ 5 = 大変適切 ・ 4 = 適切 ・ 3 = ほぼ適切 ・ 2 = やや不適切 ・ 1 = 不適切

8.財務	自己評価 2024 前期	自己評価 2024 後期
8-1 経営基盤は安定しているか	4	4
8-2 予算・収支計画は有効かつ妥当なものか	4	4
8-3 会計監査は適切に行われているか	5	5
8-4 財務情報公開の体制整備はできているか	5	4

実績の確認

8-1.経営基盤の安定には募集定員の充足が必要で、2025 年度入学者(予定)の 50 名はすでに決定し、2024 年度(2025 年4月入学者)の募集を 10 月の時点で締め切った。

8-1.経営基盤の安定には募集定員の充足が必要であり、地方の小規模校に即した学生募集活動に引き続き尽力する。

8-2.予算収支計画は妥当なものとなっているが、今後、現在の学校(建物)では学生の定員、収容スペース、設備等に限界があるため、これ以上の増員を目指す場合は、移転等の検討が引き続き必要である。

8-3.会計監査は外部により適切に行なっている。

8-4.財務情報は情報公開している。(高等教育修学支援制度での機関要件に必要な情報は全て情報公開している。)

★教職員からの声

特になし

■学校関係者の評価・意見

[適切・不適切] *どちらかに○を付けてください。

【評価者】校舎は建てられてどれくらい経ちますか。

【本校】平成 10 年築です。

【評価者】校舎拡張の意見は出ませんでしたか。

【本校】出ましたが意見がまとまりませんでした。

【評価者】教育というソフト面は充実していますが、設備などハード面の充実も大切ですね。

・ 5 = 大変適切 ・ 4 = 適切 ・ 3 = ほぼ適切 ・ 2 = やや不適切 ・ 1 = 不適切

9.法令等の遵守	自己評価 2024 前期	自己評価 2024 後期
9-1 設置基準等は遵守されているか	5	5
9-2 個人情報保護の対策は適切か	4	5
9-3 自己評価の実施と改善を行っているか	4	5
9-4 自己評価結果を公表しているか	4	5

実績の確認

9-1.専修学校設置基準および理美容師養成施設としての基準を遵守している。

9-2.2021 年度中に改訂した個人情報保護規定に関し、定期的に職員会議等で確認する。

9-2.個人情報保護規定を改定。情報漏洩の 8 割は内部の故意や過失にあるため、個人情報に関する事項は、朝礼等で必ず確認することとなっている。

9-3.自己評価の妥当性を評価する学校関係者評価を行なっている。

9-4.自己評価結果はホームページで公開している。

★教職員からの声

特になし

■学校関係者の評価・意見

[適切・不適切] *どちらかに○を付けてください。

【全員】 なし

・5 = 大変適切 ・4 = 適切 ・3 = ほぼ適切 ・2 = やや不適切 ・1 = 不適切

10.社会貢献・地域貢献	自己評価 2024 前期	自己評価 2024 後期
10-1 学校の特徴を生かした社会貢献を行なっているか	4	4
10-2 地域に対する教育訓練等を行なっているか	4	4
10-3 学生のボランティア活動を奨励しているか	3	4

実績の確認

10-1. 要請があればできる限り施設訪問は行なっているが計画的ではない。

10-1. 佐賀県専修学校各種学校連合会の会員校を中心に、年間 10～15 校程度佐賀県内の高校内で、職業理解のためのガイダンスを実施している。

10-2. 公共職業訓練の受託を行なっているが利用者は数名程度。

10-3. 高校の文化祭支援などのボランティア活動があれば随時参加を推奨している。

★教職員からの声

6-1 5-4 に同じく、職業理解のガイダンスだけでなく、高校からの依頼による身だしなみ講座等にも積極的に参加している

■学校関係者の評価・意見 [適切・不適切] *どちらかに○を付けてください。

【評価者】職員、関わる講師の先生たちの笑顔が大切で、それが学生に繋がり広がります。働いてくれる先生方の有効活用が大切です。

【本校】慢心せずに努めまいります

■アイ・ビービューティカレッジの学校運営について総合的なご意見をお願いいたします。